

氏名 松 本 皓

学位の種類 医 学 博 士

学位授与番号 乙 第 750 号

学位授与の日付 昭和 51 年 3 月 31 日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者
(学位規則第 5 条第 2 項該当)

学位論文題目 ¹⁶⁹Yb-DTPA cisternography による髄液循環動態の研究
第 1 編 Cisternography 用医薬品としての ¹⁶⁹Yb-DTPA の特性について
第 2 編 クモ膜下出血後の症例における shunt 手術適応の決定について

論文審査委員 教授 大月三郎 教授 田中早苗 教授 砂田輝武

学位論文内容の要旨

昭和 46 年 3 月以来、延べ 168 例の臨床例に ¹⁶⁹Yb-DTPA を用いた。

RI-cisternography を施行すると同時に、cisternography 開始後 6 時間にわたり、¹⁶⁹Yb-DTPA の髄液腔内から血中への移行状態をも調べた。また雑種成犬 21 頭を用い、¹⁶⁹Yb-DTPA の髄液腔内から血中への移行状態が髄液の吸収動態を表現しうるものかどうかについて実験的に検討した。その結果、¹⁶⁹Yb-DTPA の髄液腔内から血中への移行状態は、髄液の吸収動態と相関して変化しうることを確認すると共に、¹⁶⁹Yb-DTPA を用いれば、頭蓋内だけでなく脊髓腔内での髄液吸収動態をもある程度把握しうるものが明らかにされた。したがって、¹⁶⁹Yb-DTPA は臨床的に髄液循環動態を調べる時はもとより、頭蓋内のみならず、とりわけ脊髓腔からの髄液吸収動態をも検討する必要がある場合には、有用な cisternography 用医薬品となりうるものと考えられた。

次に、脳動脈瘤破裂後の患者 34 名に ¹⁶⁹Yb-DTPA cisternography を行ない、クモ膜下出血後に生じた髄液の循環ならびに吸収動態の変化について検討し、これらの中でいわゆる normal pressure hydrocephalus と考えられる特異な臨床症状 (dementia, gait disturbance, 尿失禁) を伴った症例に対する shunt 手術適応の criteria について考察を加えた。その結果、1) cisternogram 上で ¹⁶⁹Yb-DTPA の脳室内逆流、24 時間以上にわたる脳室内停滞ならびに convexity クモ膜下腔への流入欠如を見ること。

- 2) 脊髄腔をはじめとする髄液腔内から血中への¹⁶⁹Yb-DTPAの移行不全を伴っていることが重要であると結論した。

論文審査の結果の要旨

本研究は髄液の循環ならびに吸収動態を¹⁶⁹Yb-DTPAを用いるRI-cisternographyによって、臨床例と実験イヌについて調べたものである。髄液循環動態についての知見を加え、またその病的状態である正常圧水頭症の手術適応の規準を示したことは価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。